

文化審議会世界文化遺産・無形文化遺産部会

世界文化遺産特別委員会（第2回）

議事要旨

1. 開催日 平成27年7月28日（火）14:00～15:45
2. 場所 中央合同庁舎第7号館東館（文部科学省）3階 3F1特別会議室
3. 出席者（委員）

西村幸夫委員長，稲葉信子委員長代理，岡田保良委員，小浦久子委員
斎藤英俊委員，佐藤禎一委員，佐藤信委員，清水憲一委員，鈴木淳委員
中村俊郎委員，藤原恵洋委員，渡辺洋子委員

（部会委員／オブザーバー出席）

内田篤呉委員

（文化庁）

有松次長，山下文化財部長，齊藤文化財鑑査官，高橋記念物課長
岡本世界文化遺産室長，小畑専門官，禰宜田主任文化財調査官，西文化財調査官
鈴木文化財調査官，本中世界文化遺産アドバイザー，神代伝統文化課長
守山文化財国際協力室室長補佐，小林主任文化財調査官，その他関係官

4. 議事要旨

議事のうち「第39回ユネスコ世界遺産委員会について」及び「富士山の保全状況報告書の取組状況について」は公開，以降は非公開で行うこととし，審議後に議事要旨を公表することとされた。

（1）第39回ユネスコ世界遺産委員会について

第39回ユネスコ世界遺産委員会（平成27年6月28日～7月8日，ドイツ，ボン）における主な審議結果について，文化庁から報告がなされた。

（2）富士山の保全状況報告書の取組状況について

富士山の保全状況報告への取組状況として「世界文化遺産富士山ヴィジョン・各種戦略」及び「富士山包括的保存管理計画」の修正概要及び進捗状況について、文化庁から報告がなされた。

(3) 本年度の世界文化遺産推薦候補の選定等について

本年度の推薦を希望する4資産（「北海道・北東北を中心とした縄文遺跡群」，「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」，「百舌鳥・古市古墳群」，「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」）のうち，「『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群」が，推薦候補選定小委員会の意見をもとに，最も準備が整っており，文化審議会として推薦可能である旨，部会へ報告することが了承された。また，さらに検討を深める必要がある事項について特別委員会としての意見のまとめが行われ，文言の取りまとめが西村委員長に一任された。

(4) その他

「紀伊山地の霊場と参詣道」の軽微な変更申請に向けた準備状況及び「原爆ドーム」の耐震工事の現時点での自治体における方向性等について，文化庁から報告がなされた。